

ねらい	友達と課題解決をする活動を通して、協力することの楽しさやよさを感じること、誰とでも協力しようとする意識を高める。		
教科・領域	特別活動	時間	45 分間
対象	小学 6 年生	人数	37 人
活動の流れ	活動名	概要	○留意点 ●指導者の視点
	7-11	○2人組でじゃんけんをする。グー、チョキ、パーではなく指の数で0～5を表し、足して7になったら成功。3人組の場合は足して11を作る。	●誰と関わっているか、関わりを広げようとしているか。 ●男女の関わりは見られるか。
	めあての確認	○「だれとでも、協力しながら課題にチャレンジしよう」というめあてを確認する。	
	カテゴリー	○好きな季節、好きなスポーツ等のお題に対して、同じ人とグループを作る。2回目は会話を制限する等、ハードルを上げる。	○会話の有無による伝え方の違いについて気付きを共有する。
	たかーく高く新聞タワー	○3～4人の小グループを作り、各グループに新聞紙を5枚ずつ渡す。制限時間内に、新聞紙のみを使って、できるだけ高い自立式の構造物を作る。	○できるだけ普段関わらないメンバーで小グループを作る。 ●どんな構造物にするか、メンバーで話し合って合意形成を図れているか。
振り返り	○新聞タワーを作っている時に、どんな工夫や協力が見られたか。 ○その中で、日常生活に活かせるようなことはあるか。		
準備物	新聞紙、ストップウォッチ		
参加者の様子や感想	○最初の7-11では男女の関わりがほとんど見られなかったが、新聞タワーでは意図的にミックスさせたことで、段々と関わりが増えてきた。 ○新聞タワーでは、個人の作業を優先し、なかなか集団の作戦にならないグループもあったが、残り時間を意識させ、声をかけていく中で、最後には話し合いの形ができていた。		
指導に係る気付き	○新聞タワーに15～20分間設定する予定だったが、10分しかとれず、前半の時間配分に課題が残った。		